

# Ruby by otani

ニュージーランドのシンビジウム専門農場である RUBY 社は、  
 創業者ディックと妻ハンニケ、息子ディアク、二人の娘のキャロライン、マリーズを中心に  
 「花が大きく、茎が太くて硬く、日持ちするシンビジウム」をコンセプトにして  
 日本のニーズの合わせた大輪シンビジウムの生産に日々励んでおります。  
 敷地面積は 30,500 m<sup>2</sup> のニュージーランド最大の大輪シンビジウムの生産者です。

ニュージーランド RUBY 社

## シンビジウムのご紹介

RUBY 社は 1987 年にバラとスプレーカーネーションの生産で創業しました。

RUBY という社名は、ドイツの種苗会社保有のルビーという赤いバラの品種に由来します。

1990 年に日本市場向け大輪シンビジウムの生産を開始、2000 年からシンビジウムの専門農場になりました。日本の市場ニーズに合わせてピュアリップの大輪シンビジウムの生産もしており、常に新品種の生産にも取り組んでいます。



### 品種のご紹介



アルバホワイト



エーデルワイス



ヴァージンホワイト



ローナホワイト



アラスカ



ノーティライト



オリオンゴールド



ピュアイエロー



サハライエロー



アイスグリーン



バンガード



リチャピンク



ウイナー



スーピンク



ショーグン



スパイスカーン



カーンフレイム

日本の皆様には東日本大震災で多大なる被害をお受けになられた方も少なくないと思っております。私達が生産するシンビジウムで日本の皆様の心に少しでも安らぎを与える事ができればと日々願っております。

Dick



お問い合わせは、市場担当者様までお願いします。